

平成25年度

恵那市市民評価委員会提言書

平成25年10月29日

恵那市市民評価委員会

目 次

1.はじめに	1
2.平成25年度市民評価委員会の活動	2
3.市民評価委員会による評価結果	
(1) 幼稚園・保育園の一元化	4
(2) 森林整備地域活動支援事業	5
(3) 都市計画道路・用途見直し事業	6
(4) まちなか市の開催	7
(5) 岩村地域特産物販売施設維持管理経費	8
(6) 山岡地区農業関連施設維持管理経費	9
(7) 山岡農村婦人の家維持管理経費	10
(8) 山岡花・野菜苗育苗施設維持運営経費	11
(9) 明智地区農業関連施設維持管理経費	12
(10) 明智地区農産物加工施設維持管理経費	13
(11) 串原農産物加工施設管理運営経費	14
(12) 恵那峡ハーフマラソン開催事業	15
(13) 中山道広重美術館事業	16
(14) 国際化に対応できる人づくり・まちづくり	17
(15) 敬老事業	18
(16) 健康祭・歯のフェスティバル開催事業	19
(17) ヘリポート整備事業	20
(18) おおわご遺跡資料館維持管理経費	21
(19) 地域間交流推進事業	22
(20) 岩村地域交流事業	23
4.おわりに	24

1. はじめに

本委員会では、平成24年度に行政が行った約600ある事務事業のうち、市民評価委員自ら選定した14事業と行政側から提案された6事業について、現地視察と担当者からの説明によって理解を深め、市民の視点から評価を行いました。

今回の評価では、市民評価委員が選定する事業を7事業と予定しておりましたが関連する事業の7事業を加え計14事業を選定しました。また行政側から提案された事業も5事業を予定しておりましたが関連性から1事業を加え6事業を選定し、合計20事業の評価を行いました。昨年より事業数が大幅に増えましたが効率的に意見交換を行い、順調に評価作業を行いました。

評価結果の表記は、昨年と同様に正当性や効率性の評価をそれぞれ記号で示し、改善提案、今後の展開方向を文章で表記し提言として取りまとめました。

今後、ここに提出した提言書を行政で十分に検証した上で、可能な限り行政運営に反映し、より良い市政運営がなされることを期待いたします。

平成25年10月29日

恵那市市民評価委員会

委員長	市川 美彦
副委員長	田口 讓
委員	大竹 典子
委員	奥村ひとみ
委員	柘植 麻美
委員	平野 未帆
委員	宮地 政臣
委員	三輪 哲司
委員	山田 基
オブザーバー	竹内 泰夫

2. 平成25年度市民評価委員会の活動

第1回 平成25年6月10日（月）

- 恵那市市民評価委員会について
- 恵那市の行政評価について
- 評価事業の選定について

第2回 平成25年7月2日（火）

- 評価事業の選定について
- 評価の方法について

第3回 平成25年8月16日（金）

- 現地視察と各事業のヒアリング
 - ・岩村地域特産物販販売施設維持管理経費
 - ・山岡地区農業関連施設維持管理経費
 - ・山岡農村婦人の家維持管理経費
 - ・山岡花・野菜苗育苗施設維持管理経費
 - ・明智地区農業関連施設維持管理経費
 - ・明智地区農産物加工施設維持管理経費
 - ・串原農産物加工施設管理運営経費
 - ・中山道広重美術館事業
 - ・おおわご遺跡資料館維持管理経費

第4回 平成25年8月27日(火)

○各事業のヒアリング

- ・ 幼稚園・保育園の一元化
- ・ 森林整備地域活動支援事業
- ・ 都市計画道路・用途見直し事業
- ・ まちなか市の開催
- ・ 恵那峡ハーフマラソン開催事業
- ・ 国際化に対応できる人づくり・まちづくり
- ・ 敬老事業
- ・ 健康祭・歯のフェスティバル開催事業
- ・ ヘリポート整備事業
- ・ 地域間交流推進事業
- ・ 岩村地域交流事業

第5回 平成25年9月26日(木)

○評価結果の取りまとめ

第6回 平成25年10月29日(火)

○市長への提言

3. 市民評価委員会による評価結果

公共性、公平性、有効性、効率性についてそれぞれ評価をし、A・B・Cの三段階（A：極めて高い、B：高い、C：やや低い・低い）で示しています。

改善提案と今後の展開方向は、評価を行う中で、委員からの意見、提案をまとめて文章で表現しています。

1. 幼稚園・保育園の一元化

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	C
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	A
正当性評価のまとめ	B

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	A
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	B
効率性評価のまとめ	B

改善提案

幼稚園・保育園の一元化は、恵那市の将来を担う人材を育てる基本であり、制度設計を確実にし恵那市の幼児教育のレベルアップを図り、恵那市全域で速やかに進めるべきである。

しかしながら、制度設計の調整などから事業開始年度がずれ込む状況となっている。保護者等の十分な理解を深めてもらい、進める必要がある。

幼稚園・保育園の一元化を進めると共に、指定管理者制度の導入を計画している園については、指定管理者制度の導入を着実に進められたい。

今後の展開方向

・維持（市民の理解を深め、計画的に事業を進める必要がある。併せて指定管理者による運営を進められたい）

2. 森林整備地域活動支援事業

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	B
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	B
正当性評価のまとめ	B

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	B
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	B
効率性評価のまとめ	B

改善提案

森林の荒廃が進むと、自然災害が多発する要因となるため、森林整備地域活動支援事業の必要性は高く、森林保護は市民全体にとって有益である。しかしながら木材価格の下落などから森林の管理が行われなくなり荒廃が進んでいる。

森林の持つ機能に対する市民の理解を深め、森林を守る組織の立ち上げなどが必要と思われる。また森林への関心がない所有者への対応も重要である。

これらのことから、森林整備の必要性を地域で考え実行することが大切であり、環境税を活用した補助金を積極的に活用し森林整備を促進する必要がある。

また、間伐と併せ広葉樹の植樹を進めるなど野生動物の保護を図られたい。

今後の展開方向

・維持（森林整備の必要性を周知し、補助金を積極的に活用し効率的に森林整備を進められたい）

3. 都市計画道路・用途見直し事業

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	A
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	A
正当性評価のまとめ	A

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	A
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	B
効率性評価のまとめ	B

改善提案

恵那駅前を中心とした道路や景観が改善され、住みよい市街地となってきた。また計画は常に見直され市民の協力が得られ、効率的に事業が進むよう継続していくべきである。

今後、財政状況が厳しくなると予測されるため、未整備の都市計画道路などにおいては、事業の必要性、緊急性、費用対効果などを検討し、長期的な展望のもと計画を見直されたい。

平成39年にはリニア中央新幹線が開通される予定であり、その経済波及も予想されます。用途地域外や都市計画区域外では無秩序な開発も懸念されます。用途地域の見直しなど、土地利用の推進を図られたい。

今後とも恵那市が個性的で魅力ある都市となるよう市民と行政が将来像を共有し、その実現に向け協働して推進すべきである。

今後の展開方向

- ・維持（市民と協働して進められたい）

4. まちなか市の開催

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	B
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	B
正当性評価のまとめ	B

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	B
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	B
効率性評価のまとめ	B

改善提案

商店街や地域が活性化するために必要な事業と思われる。しかしながら商店街の起爆剤となりきっていないのが現状である。

このため、イベント時だけでなく、常時にぎわうような工夫を商店街が主体的になり、行政の協力を得て行う必要がある。民間団体の育成を図りながら、商店街の意識の高揚を図り、併せて広く市民が参加しやすくし、継続していかなければならない。現在、実施している内容を検証し、改善をしながら進められたい。

今後の展開方向

- ・改善（実施方法など改善を図りながら継続）

5. 岩村地域特産物販売施設維持管理経費

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	C
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	B
正当性評価のまとめ	C

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	C
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	B
効率性評価のまとめ	B

改善提案

地域の特産物を守ることは大切であるが、開設時とは社会情勢も変化しており、実状を理解し特徴ある施設として運営していくことが望ましいと思われる。

また施設の有効活用は図られておらず、創意工夫ある施設とするため多方面から利用方法等を検証し、運営方法についても民間への移譲も視野に入れ検討すべきである。

今後の展開方向

- ・改善（施設の有効活用を図り、施設の移譲も視野に検討が必要）

6. 山岡地区農業関連施設維持管理経費

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	C
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	C
正当性評価のまとめ	C

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	C
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	C
効率性評価のまとめ	C

改善提案

この事業の対象施設は、やすらぎの里「コテージ石楠花」、田代集落農事集会所となり、平成18年4月から指定管理者制度により管理委託がなされている。

施設は利用率も低く又、集会所にあっては利用者が限定されている。また当該施設は、第2次行財政改革行動計画（後期）では、「移譲又は廃止」する方向となっていることから、民間もしくは地元への移譲を進められ、移譲が出来ない場合は廃止も含め検討されたい。

今後の展開方向

- ・ 縮小（移譲又は廃止）

7. 山岡農村婦人の家維持管理経費

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	C
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	C
正当性評価のまとめ	C

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	C
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	C
効率性評価のまとめ	C

改善提案

施設は老朽化が進み、利用者率も低い施設となっている。また地区内には当該施設を補完する施設があることから、補助金適正化法による期限経過後には、速やかに地元移譲又は廃止すること。また廃止される場合は、現在の資産の有効活用を検討する必要がある。ただし、廃止するにあたり、当施設を利用している方が引き続き活動ができるよう支援策を講じられたい。

今後の展開方向

- ・ 縮小（移譲又は廃止）

8. 山岡花・野菜苗育苗施設維持運営経費

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	C
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	C
正当性評価のまとめ	C

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	B
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	C
効率性評価のまとめ	B

改善提案

地域への花・育苗苗の供給を行っているが、しかしながら担い手不足や品質向上などに課題があり、経営などに努力が必要である。

経営を安定させるため、関連機関との連携を図り、商品開発を進める必要がある。販路についても地域に偏りが感じられる。これらのことからニーズを的確に把握し、販路の拡大が必要である。

また、指定管理先として、当該管理組合が適正なのか検討も必要であり、今後は経営の安定を図り、施設移譲も視野に検討すること。

今後の展開方向

- ・縮小（移譲又は廃止）

9. 明智地区農業関連施設維持管理経費

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	C
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	C
正当性評価のまとめ	C

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	C
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	B
効率性評価のまとめ	B

改善提案

この事業の対象施設は、東方センター、横通集会センター、杉野集会センター、生活改善センター及びふれあい会館吉良見であり、東方センター、横通集会センター及び杉野集会センターは平成18年4月から指定管理制度により管理委託され、地元移譲への協議がなされているところである。

生活改善センター及びふれあい会館吉良見の利用者は限定されているため、地区による施設の活用方法や受益者負担を検討し、地元移譲を含め検討が必要である。

地元移譲の協議を進められている施設は早期に地元移譲を進められたい。

今後の展開方向

- ・縮小、廃止等（施設の利活用を図られたい）

10. 明智地区農産物加工施設維持管理経費

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	C
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	C
正当性評価のまとめ	C

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	C
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	B
効率性評価のまとめ	C

改善提案

施設は、平成18年4月から指定管理者による管理委託となっている。市からの指定管理料がない中、指定管理者により経営努力がされているところですが、施設の認知度が低いと思われます。このため、近隣施設との連携を強化するなど販売方法や販路の拡大を検討し、また特産品の開発など関連機関との連携を図り、販売量の増加に繋がりたい。

今後の展開方向

- ・改善（特産品の開発、販路の拡大を図りたい）

11. 串原農産物加工施設管理運営経費

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	C
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	C
正当性評価のまとめ	C

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	C
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	B
効率性評価のまとめ	C

改善提案

この施設は、農地の遊休化防止にため大豆等への転作による地場資源を有効活用されるために造られた施設であるが、現状は把握されていない。今後、施設の目的を明確にされ、事業を進められたい。

この施設は、働く場として地域の人が生きがいを持って働くことが出来る施設でもあるが流通体系が確立されておらず、効率的な流通がなされていない。指定管理者が自立して運営がきるよう商品開発、販売量の増加、宣伝を図り、安定的な経営が出来るよう努力されたい。

今後の展開方向

- ・改善（特産品の開発、販路の拡大を図られたい）

12. 恵那峡ハーフマラソン開催事業

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	C
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	B
正当性評価のまとめ	B

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	B
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	B
効率性評価のまとめ	B

改善提案

恵那市のPR、交流人口の増加には効果がある事業であり、参加者数も年々増加している事業である。

恵那峡ハーフマラソンと大正村クロスカントリーと類似競技が開催されており、開催方法や運営など改善が必要な事業と思われる。また市民参加型の大会とするため、市民の手により開催できるようボランティアスタッフの確保とサポートを進め、競技への市民参加を促がしながら“マンネリ化”に陥らないよう事業改善が必要である。

今後の展開方向

- ・改善（運営方法など改善を図りたい）

13. 中山道広重美術館事業

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	C
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	B
正当性評価のまとめ	B

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	B
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	C
効率性評価のまとめ	B

改善提案

恵那市のまちなかに設置された文化施設であり、まちづくりの核を担う施設であるが、入館者数は伸び悩み、まちづくりの核を担えていない状況である。このため、観光協会など関係団体とタイアップし観光資源としての活用を図ることが必要である。併せて、地域住民との連携を図り、市民に親しまれる施設となるよう検討が必要である。

また展示、運営に一層の努力をされ、併せて民間の経営ノウハウを活用するため、指定管理者制度の導入を進められたい。

今後の展開方向

- ・改善（入館者を増やす方策を検討されたい）

14. 国際化に対応できる人づくり・まちづくり

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	B
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	C
正当性評価のまとめ	B

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	B
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	B
効率性評価のまとめ	B

改善提案

国際交流事業は、中学生が海外で見聞を広めることができ、帰国後に意識変化がみられ、有意義な事業となっている。

参加した中学生やOBが国際交流協会の活動に関わってもらうなど派遣事業が一過性のものとならないよう活動の場が必要である。

また、定住外国人も増えており、派遣事業だけでなく市内に在住する外国人との交流事業の具体化を図り、定住外国人が住みよい環境づくりも必要である。

このため、公共施設等の外国語表示も必要である。

今後の展開方向

- ・改善（国際交流協会の活動に関わってもらうよう検討されたい）

15. 敬老事業

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	A
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	B
正当性評価のまとめ	B

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	B
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	B
効率性評価のまとめ	B

改善提案

恵那市に長く貢献されてきた高齢者に敬意を示すことは、大切なことであり継続していく事業である。しかしながら平均寿命も長くなり、また高齢化が進み、高齢者人口が増加し、敬老事業の対象の年齢について意識の変化もあり、現在のお祝い対象年齢及び支給額を見直すべきである。

地域においても長く貢献された高齢者が健康的に楽しく過ごせるよう、敬老事業の充実が図られるよう努力されたい。

今後の展開方向

- ・改善（支給金額及び支給年齢など検討が必要）

16. 健康祭・歯のフェスティバル開催事業

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	C
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	B
正当性評価のまとめ	B

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	C
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	C
効率性評価のまとめ	C

改善提案

医療費や介護保険給付費が増加する中、予防医学の分野は市の取り組みとして大切であり、市民一人一人が健康について関心を高める必要がある。しかしながら健康祭の参加人数は減少し、また参加者が固定化されるなど事業がマンネリ化していると思われる。

医療費や介護給付費を抑制するため、市民の健康・福祉意識の高揚を図ることは重要であるため、各地域のイベントに併せて開催するなど、各地域と調整を図り、より多くの市民が参加できるよう開催方法など検討する必要がある。

今後の展開方向

- ・縮小（改善しながら縮小）

17. ヘリポート整備事業

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	B
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	A
正当性評価のまとめ	B

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	A
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	B
効率性評価のまとめ	A

改善提案

ドクターヘリは、岐阜県が実施しており、常駐場所は岐阜大学医学部附属病院にある。恵那消防署の出動要請により、恵那市のどの地域でも概ね20分程度で到着できる。また医師及び看護師が搭乗するため、医療機関に搬送する間も救急医療を実施することができる。

市民の生命、財産を守るため、岐阜県が実施するドクターヘリがスムーズに運行されるため、計画的に早期に整備すべきである。

今後の展開方向

- ・維持（計画的に早期に整備すること）

18. おおわご遺跡資料館維持管理経費

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	C
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	C
正当性評価のまとめ	C

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	C
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	C
効率性評価のまとめ	C

改善提案

ほとんどの市民に知られていない施設であり、資料館の機能を果たしておらず、倉庫と等しい機能である。

資料については、市内全域で総合的に管理するなど管理の方法を検討し、市民が利用しやすい施設などで公開するよう検討が必要である。

また施設については、廃止又は保管庫として活用するなど利用方法の検討が必要である。

今後の展開方向

- ・縮小（廃止を含め、検討が必要）

19. 地域間交流推進事業

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	C
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	C
正当性評価のまとめ	C

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	C
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	C
効率性評価のまとめ	C

改善提案

交流都市、恵那市としてふさわしい事業であるが、一部の地域で実施されている事業であり、市としてどのように関わっていくか検討が必要である。災害時相互対応協定などに有効に活用するよう事業を推進していく必要がある。

今後の展開方向

- ・改善（全市的に波及する方策を講じられたい）

20. 岩村地域交流事業

正当性評価	
○公共性の評価 (市がどうしても行わなければならない事業であるか)	C
○公平性の評価 (税金が公平に分配されている事業か、適正な受益者負担がなされている事業か)	C
正当性評価のまとめ	C

効率性評価	
○有効性の評価 (施策の目的達成に貢献している事業であるか)	B
○効率性の評価 (コスト削減の余地がないか、もっと有効な手段、方法はないか)	C
効率性評価のまとめ	B

改善提案

交流都市 恵那市としてふさわしい事業であるが、一部の地域で実施されている事業であり市としてどのように関わっていくか検討が必要である。旧岩村町の歴史的な交流であり、観光協会や関係する団体を育成しながら、市として関与していくべきである。

今後の展開方向

- ・改善（全市的に波及する方策を講じられたい）

4. おわりに

平成23年度に委嘱された市民評価委員が任期を満了したことに伴い、本年6月に9名の委員が委嘱されました。市民評価委員会は4年目となり、委員会は効率よく会議を進めることができ、議論を深めることができました。

また、今年度は関連事業を併せて評価したことにより当初予定しておりました12事業から20事業を評価することとなり、大幅に事業数が増えることとなりました。評価事業の選定については、委員が普段の活動から関わっている事業、市民生活の中で関わっている事業、どのように実施されているか知りたい事業など9人がそれぞれの視点から選択し、委員会により決定しました。

事務事業評価にあたり、現地視察や担当課職員から事業のヒアリングを行い、また委員の中でも意見が分かれるなど様々な視点から理解を深めることが出来ました。

また、公共性、公平性、有効性、効率性の視点から事務事業評価を行い、それぞれを点数化することにより公共性及び公平性から正当性評価のまとめを行い、有効性及び効率性から効率性評価のまとめを行いました。その上で、正当性評価、効率性評価及び事業内容等から事業の今後の方向性を評価しました。

今回選定した事業の中で、行政内部の事務事業評価が不十分であるため、事務改善に反映されているとは見受けられない事業がありました。行政内部でも適正に評価し、事務改善を行うなどPDCAサイクルを確実に実施され、行政評価の本来の目的が達成できるよう努力されたい。

この提言書は、市民の様々な視点から客観的に評価し、意見を述べているものです。本提言書が今後の行政事務に有効に活用されることを期待し、積極的に事務の改善に努められることを要望いたします。

平成 25 年度恵那市市民評価委員会名簿

No.	氏 名	選 出 団 体
1	◎ 市川 美彦	恵那市市民評価委員会
2	大竹 典子	公募
3	奥村 ひとみ	公募
4	○ 田口 譲	恵那市市民評価委員会
5	柘植 麻美	恵那市市民評価委員会
6	平野 未帆	恵那市市民評価委員会
7	宮地 政臣	恵那市市民評価委員会
8	三輪 哲司	恵南商工会
9	山田 基	恵那商工会議所
	竹内 泰夫	政策評価研究所（オブザーバー）

※五十音順に表記。敬称略

※◎は委員長、○は副委員長